香美市文芸 風の流れ

【短歌】　岡崎桜雲　選

天空の菜の花畑咲きほこる人呼びよせる不思議な力　五百蔵利美
流れ行く雲に乗せたや母の声グアムに散りし息子の霊に　岡本初美
潮時と免許返納廃車して八十路の坂の山桜見る　小松敏子
すみれ咲く丘に登れば物部川くねりゆらりてたおやかに往く　原　茂
山や谷のめぐみに育ちし春秋やよわいの果の今を支うる　坂上のぶ子
腹時計十一時過ぎと思えども十時半にてまた仕事場に　畠山千江
しあわせの風吹いたよと幼な孫回転遊具のぶらんこのあと　中村紫乃
奔放に樹々に巻き付く葛の葉の車窓に迫る里平井道　森本幸美
サクランボ春何番と咲きましょか手折るなかれと風ささやきぬ　西野地　薫
帰ることのなき旅に出で（い）もう八月夢に呼ぶ夫涙でさがす　楮佐古きよ
家籠（ごも）りせしひと冬の口惜しもぺんぺん草は撥（ばち）みだれ打つ　大岸由起子
背を押せる落花の風の冷え冷えとダム湖夕づく家路急ぎぬ　山﨑雅也
ひそやかに秘境に咲ける蓮の花月の光に一生をたくす　山﨑貴子
思いっきり体伸ばして昼寝する夫の寝息に感謝しながら　小原子川
ガラス拭きヘルパーもせぬ規制ありベッドに寝転び青空が見たい　盛岡雛子
挑戦だコロナウイルス人類に負けるものかと化学者達は　吉村弘子
桜咲き桜散りにて幾年（いくとせ）か父母（ちちはは）逝きてはや十七年が過ぐ　高田清子
有りし日の祖母の面影その所作をいとこ等集い語るひととき　公文千恵
「人命より大切なものは他にない」緒方貞子の信念思う　吉本悦子
目に見えぬ敵もう一つ増えにけり放射能プラスコロナ・ウイルス　古川安子
ジャンケンに勝ちて貰いし開運のネズミの置物床にかざりて　門田明子
山里の風景うかべ蕎麦粉（そばこ）ねる羊羹（ようかん）づくり蒸気しゅんしゅん　小松禮子
後たたぬコロナの菌に怯（おび）えゐる希望のスイッチ入るは何時や　武内弘子
転倒のその一瞬にまざまざとわが過去（すぎゆき）の脳裡をめぐる　竹村咲子
初鳴きに耳を澄ましぬわが生を神にぞ親にぞ手を合はすのみ　大石綏子
白壁に夕日のさして吉良川の古き町並に雛の賑わい　松中賀代
耳もとへ風のことづてやさしかり冬草の群へ鍬をあてゐて　公文正子
もはや今宵まつはる姿はなけれども夢に近寄りひびく鈴の音　小松もとみ
神の島の夜の静寂は思ふのみ朱のみ社に人らあふれて　佐竹玲子
丘の上のなんじゃもんじゃを撮りし日のはしやぎし君に二度と会へない　都築初代
ちょっと待ってよと奥に入り新高梨を持ち下されし笑顔の先生　古谷由美
橋の下の川原広くこんもりと誰が重ねしか積石のあり　佐々木真里
槇山が物部となりて村が町人口減の時代へと生く　小松信子
この桧百年たてば艶がでるその後の役目化粧箱かな　どんぐり
久しぶり紙研究所のパンフ見るカラー写真のキトサン和紙が　宮地亀好
凄まじい出来事多き日が続き満身創痍の「令和」二年目　刈谷美代子
共鳴し異論を唱へ新聞を読む我（わ）の生き方を探る思ひに　岩井純子
平和とは意識をせずにやわらかく空気のように満ちているもの　秋　星
正月も返上し勉学に勤（いそ）しめる孫（まご）娘の望みの叶えと祈る　寺内啓子
届いたよ「たたき」の礼の娘の電話今夜の毛布は格別温い　町　耿子
山頂にわづかな緑残りたる赤き山肌に白鷺飛べり　明石敬恵
久し振りに家族四人で早起きし車で出発いざ城崎へ　古川　恵
一日を時計の如く生きし過去時には止めやう心の時計　野島富石
月あかり知己と語らふ言の葉は詩（うた）になり今吾をときはなつ　小松美鶴
家の横を散歩する人持ちくれし自分で育てし赤きグラジオラス　野村典子
暖かき灯りのもれて「お帰り」と声する家に帰る嬉しさ　井上有子

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、ご応募ください。
【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係

図書館だより

市立図書館

◆図書館ボランティア募集

本館では、毎週水曜日を『図書ボラ』の日とし、ラベル貼り替え作業のお手伝いをしてくださる方を募集します。

新図書館開館に向けて、現在の図書館にある資料のうち約4万冊の資料のラベルを貼り替えます。新図書館では蔵書冊数も増えるため、資料の正確な管理を目的とし、新ラベルへの変更を順次行います。

コツコツとした作業の好きな方、ご参加お待ちしています。

※参加者はボランティア保険に加入します（保険料は市負担）

【作業日時】毎週水曜日　10時〜12時、14時〜17時の間でお構いない時間（1〜2時間程度）

【作業内容】背ラベルの貼り替え

【問い合わせ先】本館　☎53・0301

◆『子ども司書』養成講座 今年度はお休みします

昨年まで多くのご参加をいただいていました『子ども司書』養成講座について、今年度は新型コロナウイルスの影響により休みをします。

【問い合わせ先】本館　☎53・0301

Pick Up

誰にも相談できません
みんなのなやみぼくのこたえ
高橋源一郎　著
恋愛や結婚、仕事や家族、人生のままならぬ悩みに高橋源一郎が向き合います。『毎日新聞』連載の人生相談を単行本化！

地獄の楽しみ方
京極夏彦　著
言葉の罠（わな）にはまらないために。地獄を楽しむために。言葉の達人、京極夏彦が『語彙と思考』の関係をレクチャーします。『17歳の特別教室』シリーズ第5弾。

読書リレー No.005

香美市『子ども司書』
門脇百南さんのオススメ

星の王子さま
The Little Prince
サン=テグジュペリ　著

「The things that are most important cannot be seen with our eyes.」この本はやさしい英語で書かれ、楽しみながら英語の力をステップアップできるようになっています。冒頭に書いた英文は、このお話の中で私のいちばん好きな言葉です。出会いと別れの物語、自分流に訳しながら読み進めていくのも味わい深いものがあります。

香美市森林環境税活用事業

かみんぐBABY木のギフト

『かみんぐBABY木のギフト』が始まります。

香美市に産まれたあかちゃんを対象に、木のおもちゃをプレゼントする事業が始まります。これは、新しい命を家族に迎えるという大切なときに、乳幼児とそのご家族に香美市産材を使用した木製品をプレゼントすることで、木の良さを五感で感じてもらう機会を設け『木とふれあい、木に学び、木でつながる』という取り組みを通して、将来の**木づかい運動**へとつながることを目的として、市が森林環境譲与税を活用して実施する事業です。

この事業は、平成30年度に楠目小学校の5年生からの提案を受けて、香美市未来の森づくり委員会で検討のうえ企画しました。

まずは、新生児訪問の際に、お誕生記念品をお渡しいたします。木のおもちゃを実際に触ってみて木の温かさや香りを感じてください。さらにお申込みをいただくと木のギフト（上限1万円）をプレゼントします。詳しくは、お誕生記念品と一緒にお渡しする案内パンフレットをご覧ください。

【対象者】令和2年4月2日以降に香美市に産まれたあかちゃん
【申込期限】満1歳のお誕生日まで
【お問い合わせ先】農林課林政班　☎52・9283